

家庭

受験番号

指導の構想を練る時間：5分間

模擬授業の時間：5分間

(1) 本試験のねらい

学級全体を指導する場面において、指定された学年の学習内容について、留意点を示しながら適切な指導ができるかを評価します。

(2) 問題の内容

あなたは、第1学年の家庭基礎の教科担任です。
共生社会の分野の「合理的配慮」の授業をしています。
本時のねらいは「公平性とは、平等とはどういうことか考えよう」とし、提示した2つのイラストを活用しながら、自分の考えを発表するように、全体に指導をしてください。
ホワイトボードマーカーを使用しても構いません。

(3) 板書の内容

本時のねらい

「公平性とは、平等とはどういうことか考えよう」

著作権保護の観点により、掲載いたしません

(出所) Interaction Institute for Social Change:Artist:Angus Maguire

家庭

受験番号

指導の構想を練る時間：5分間

模擬授業の時間：5分間

(1) 本試験のねらい

学級全体を指導する場面において、指定された学年の学習内容について、留意点を示しながら適切な指導ができるかを評価します。

(2) 問題の内容

あなたは、第1学年の家庭基礎の教科担任です。
消費生活の分野で「キャッシュレス」について、話し合う授業をしています。
本時のねらいは「どのようにすれば、日本でもっとキャッシュレス決済が普及するか考えよう」とし、キャッシュレスのメリットについて触れながら、全体に指導をしてください。
ホワイトボードマーカーを使用しても構いません。

(3) 板書の内容

本時のねらい
「どのようにすれば、日本でもっとキャッシュレス決済が普及するか考えよう」

家庭

受験番号

指導の構想を練る時間：5分間

模擬授業の時間：5分間

(1)本試験のねらい

学級全体を指導する場面において、指定された学年の学習内容について、留意点を示しながら適切な指導ができるかを評価します。

(2)問題の内容

あなたは、第1学年の家庭基礎の教科担任です。
高齢者の分野で「認知症」について、考える授業をしています。
本時のねらいを「認知症を理解し、家族や地域による支援について考えよう」とし、もし身のまわりの人が認知症になったら、自分や家族に何ができるのかについて、認知症の症状に触れながら、全体に指導をしてください。
ホワイトボードマーカーを使用しても構いません。

(3)板書の内容

本時のねらい
「認知症を理解し、家族や地域による支援について考えよう」

教科	受験番号
家庭	

実際に生徒が調理実習を行うにあたり、生徒への指導上留意すべき点について考えながら実技試験に取り組むこと。

制限時間は後片付けを含めて 25 分間です。

実技問題 1

※提出後、調理台及び調理道具を片付ける。

実技問題 1 「カスタードプディング」を湯せん法で作きなさい。

※（オーブンは使用できない）

<材料>

【プリン液】	
・卵	1 個
・牛乳	100ml
・砂糖	18 g
【カラメルソース】	
・砂糖	27 g
・（ア）	20ml
・（イ）	15ml
【自由材料】	
・油	適量

<指示>

- ・（ア）と（イ）は、適する材料を考えて使用する。
- ・計量スプーン、計量カップを使用し、調理する。
- ・出来上がったら、器に盛りつけ 2 個とも提出する。

実技問題 2 カスタードプディングについて、以下の問いに答えなさい。

※解答は、別紙「解答用紙」に記入すること。

（1）卵の何の調理特性を利用したか。

（1）

（2）卵白と卵黄はどちらが（1）の温度が高いか。

（2） 卵白 ・ 卵黄

（3）砂糖は（1）を促進させるか抑制させるか。

（3） 促進 ・ 抑制

令和8年度採用 高等学校 家庭（食物）実技試験 解答用紙

教科	受験番号
家庭	

実技問題 2 カスタードプディングについて、以下の問いに答えなさい。

なお、（2）と（3）はどちらか正しい方を丸で囲みなさい。

（1）卵の何の調理特性を利用したか。

（1）

（2）卵白と卵黄はどちらが（1）の温度が高いか。

（2）
卵白 ・ 卵黄

（3）砂糖は（1）を促進させるか抑制させるか。

（3）
促進 ・ 抑制

教科	受験番号
家庭	

(制限時間 25分)

次の条件に従い、準備した布等を使用して「手縫いの見本」を作成しなさい。

【条件】

- ◎各見本は、台紙に貼り提出するため、布の上部2cmは貼り代として残し、作業を進めること。「わ」が下になるように配置する。
- ◎チャコペンシル等で、しるしをつけてもよい。

指示①～⑦にしたがって製作しなさい。(順番は関係なし)

指示① 「並縫い」

- ・布は、アイロンを使用し、半分に折る。
- ・10cm以上並縫いをする。
- ・針目は、0.4cm程度とする。
- ・最後に糸こきをする。
- ・縫い始めと縫い終わりは玉どめをする。
玉どめはかくさなくてもよいが、表には出さない。

指示② 「まつり縫い」

- ・アイロンを使用し、中折り1cm、外折り2cmの三つ折りにする。
- ・10cm以上まつり縫いをする。
- ・針目の間隔は0.7cm程度で、表目は0.1cm程度とする。
- ・縫い始めと縫い終わりは玉どめをする。
玉どめはかくさなくてもよいが、表には出さない。

指示③ 「半返し縫い」

- ・布は、アイロンを使用し、半分に折る。
- ・10cm以上半返し縫いをする。
- ・針目は裏目0.6cm程度、表目0.2cm程度とする。
- ・縫い始めと縫い終わりは玉どめをする。
玉どめはかくさなくてもよいが、表には出さない。

指示④ 「ボタン付け」

- ・布は、アイロンを使用し、半分に折る。
- ・糸は、手縫い糸30番で1本どりとする。
- ・糸を3回かけ、糸足を3回巻き、しっかりつける。
- ・玉どめはかくさなくてもよいが、表には出さない。

指示⑤ 「千鳥がけ」

- ・布は下から3cmアイロンで折る。
- ・糸は1本どりとする。
- ・針目の間隔が0.5cm程度、表目は0.1cm程度である。
- ・10cm以上千鳥がけをする。
- ・玉どめはかくさなくてもよいが、表には出さない。

指示⑥ ・台紙にある問題の空欄に適する語句を答えなさい。

指示⑦ ・台紙の指示されたところに、8cm程度両面テープを使用し、見本を貼る。
・台紙の指定された場所に、受験番号を記入する。

教科	受験番号
家庭	

並縫い

ここに布の角をあわせて貼る

特徴・用途・他

- ・（ ① ）縫いやミシンかけする前などに2枚の布を縫い合わせる。
- ・別名（ ② ）、ぐし縫いともいう。

①	②
---	---

まつり縫い

特徴・用途・他

- ・袖口や（ ③ ）を折り、縫い目が表に目立たないようにする。

③

半返し縫い

特徴・用途・他

- ・（ ④ ）度が上がり丈夫になる。

④

ボタン付け

特徴・用途・他

- ・1本どりで、ボタンが少し（ ⑤ ）ように糸をゆるめ、3回穴にかけて、糸足で3回巻く。

⑤

千鳥がけ

特徴・用途・他

- ・（ ③ ）の始末として使う。
- ・（ ⑥ ）も兼ねる。

⑥